学校番号	３１５

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本文教出版　高校生の美術２						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰにつづいて、絵画・立体・デザインなど、様々な美的体験を通じて、創造的発想力、構想力、鑑賞の能力等、美術の諸能力を高める。特に、イメージする力を高め、自身の感性を通して、自由に表現できるようにする。
自分なりの感じ方や見方、表現を深める

２　学習の到達目標

多様な美術領域の中で、生徒の個性を生かせる教材・教具の工夫をはかる。発想を豊かにして表現活動に取り組めるよう、適切なアドバイスを与え、参考作品や資料の提供をはかる
生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。美術文化についての理解をふかめる

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わう。 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組む	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につける 意図に応じて表現方法を工夫している	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解しそのよさや美しさを創造的に味わっている
評価方法	制作の様子 ワークシート	ワークシート アイデアスケッチ 製作途中の作品 作品	製作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	美術Ⅱについて【オリエンテーション】 「表現するとは何か」	オリエンテーション ・教科書を鑑賞し、多様な表現方法について学ぶ。1年と2年の違いを知る。大阪出身の現代アーティスト塩田千春の作品を見ながら、アートの可能性と社会におけるアートの役割について考える。 ・学校生活に役立つアートについて考え、デザインすることの必要性を考えてもらう。 ・美術の中で必要な知識とは何か。形、色、質感、構成、など具体的に表現力を高める、知識について説明する。	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に興味を持ち、これからの学習に意欲を高める。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取る。芸術の働きや文化について理解を深める。 c: ５つの図法の説明と透視図法３つの作図をプリントを使って説明する。 d:立体感のある形を描く力を高め、理解できるようにする。	学習活動の様子 アンケート 透視図法のプリント 制作の様子 作品
	【デザイン】「大阪府立　大塚高校　氏名」をデザイン文字で描こう！(B3 パネ	・大阪府立大塚高校自分の氏名をデザインしよう！自分が興味を持っている、好きなものを字と重ね魅力的な画面を作る。 ・学校の校舎1階の廊下を飾り、学校を訪れる人の心を和ませる。作品にする。 ・作品展示 他者の作品から作者の表現の工夫などを感じ、理解する。	○	○	○	○	a:文字のレタリングについて学ぶ。 b: 表現方法の特性を生かして構成等を工夫し、創造的な表現の構想をねる c:意図に応じて用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、表現する d:他の生徒の作品のよさや美しさを感じる。	実物大の下書きをする。 制作の様子 作品 ・鑑賞ワークシート
	【デザイン】【彫刻】生活の中で使う食器をデザインして自分で作ろう！	・陶芸制作・・・作品鑑賞をして手回しろくろを使って茶碗やマグカップなどを作る。	○	○	○	○	a:根気強く最後まで思い入れをもって丁寧に作業できたか。 b:使いやすく持ちやすいデザインを発想できたか c:手回しろくろ、カンナ、へら、切り針、切り糸など用具の扱いが上手に先生の指示通りにできたか？ d:友達の作品を見、作者の意図や工夫よさや美しさなどを感じ取る	アイデアスケッチ 作品 高台削り 用具の片付け、土の管理

2	【絵画】【デザイン】 「絵本製作」夢を形に(仮)」	・象的な表現と具象表現の違いを学ぶ。 ・モダンテクニックを学習し、人権問題をテーマにして「絵本製作を行う。 ・絵本を見る人が心を打つイメージを、具象と抽象の狭間を探りながら制作させる。独自の画面を作る想像力、構成力を身につける。 ・発表会をし全員で鑑賞する。	○	○	○	○	a:様々ある技法を試して、新しい表現方法を手に入れる b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練る c:柔軟な発想でいろんな技法をためしてみる。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り作品について理解を深めている。	・モダンテクニックワークシート ・アイデアスケッチ ・制作の様子 ・製作途中の作品 ・作品 ・
3	【デザイン】【彫刻】 木彫パズルの制作」	・電動糸のこ盤を使い、木彫パズル(組み木パズル)の制作をする。	○	○	○	○	a:少し厚めの一枚板で木彫組木パズルのデザインを考える。 b:チャコペーペーで板に複写する。 c:電動糸のこ盤の操作を学び、2人1組で制作する。 d;作品の表面と過度をサンドペーパーで磨き、塗装する。展示をして鑑賞する。	アイデアスケッチ(実物大グラフ用紙) ・制作の様子 ・製作途中の作品 ・作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。